

exs., 白岩岬, 2-4. V. 2019, KK (イエローパントラップ); 2 exs., 母島, 3-4. V. 2019, KK (ライトトラップ). 沖の島のみならず高知県からも初の記録となる。北海道から九州にかけて広く分布する日本固有の種であり(小林, 2008), シバ苗などを介して人為的に分布を拡大した可能性が示唆されている(小林, 2012).

おわりに

今回、沖の島から新たに3初記録種を報告し、過去の文献記録をまとめた結果、同島には33種のコガネムシ類が分布することが明らかになった(表1)。沖の島には、おおむね1950年以降、シカやイノシシなどの野生の大型哺乳動物が生息しないとされていたにも関わらず(酒井, 2019), それらへの依存性が高い糞食性種(オビマグソコガネ *Aphodius (Calamosternus) uniplagiatus* Waterhouse, オオフタホシマグソコガネ *Aphodius (Aphodius) elegans* Alliberi, オオマグソコガネ *Aphodius (Colobopterus) quadratus* Reiche, ナガスネエマコガネ *Onthophagus (Matashia) ohbayashii* Nomura など)が多く確認されていたため、島内には家畜の放牧地といった良好な生息環境が存在すると考えられた。しかし、大半の糞食性種が確認されたのは塚本(1987)のみであり、これ以降は確認されていないことから、その多くがすでに消失している可能性が考えられる。そのため今後の調査では、これらの種が現在も生息するかを確認すると共に、確認された場合はどのような生息環境に依存しているかを記す必要があるだろう。

糞食性種の記録が多い一方で、植食性種の記録は非常に少なく、特にスジコガネ亜科とコフキコガネ亜科はそれぞれ4種が記録されているにすぎない。前述したとおり、沖の島の自然環境は二次林が二次遷移によって極相へ至ったものであり、植食性種が生息する環境としては極めて良好である。そのため、今後、異なる時期に調査を行うことで更なる種数の追加が期待される。

文末ながら、今回原稿を執筆するにあたってご指導頂いた石川忠博士に感謝の意を述べる。

引用文献

- Bezděk, A., M. Dellacasa, G. Dellacasa, D. Král, M. Rakovič, S. Ziani, D. Ahrens, T. Branco, C. Zorn, & F.-T. Krell, 2016. Scarabaeidae. Pp. 97-412. In Löbl, I. & D. Löbl (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 3. xxviii + 983 pp. Brill, Leiden.
- 土井 学・藤田 宏, 2012. 高知県沖の島と鶴来島の甲虫。月刊むし, (501): 32-34.
- 江崎梯三・石原 保, 1951. 四国西南端の離島沖の島昆虫採集行。採集と飼育/採集と飼育委員会編, 13 (12): 371-376.

- 藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録. 293 pp., コガネムシ研究会, 東京.
- 堀内和美・上迫 蘭・塩路加奈・荻沼一男, 2007. 高知県宿毛市沖の島の植物。高知女子大学紀要, 生活科学部編, 57: 73-94.
- 小林裕和, 2008. 日本産カバロピロウドコガネ属 (*Nipponoserica*) について. Kogane, (9): 41-49.
- 小林裕和, 2012. コフキコガネ亜科, カバロピロウドコガネ属. Pp. 406-410. 岡島秀治・荒谷邦雄(監修) 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.
- 松本 武, 2012. コフキコガネ亜科, コフキコガネ属. Pp. 385-388. 岡島秀治・荒谷邦雄(監修) 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.
- Matsumoto, T., 2016. Three new genera of the subtribe Rhizotrogina (Scarabaeidae, Melolonthinae, Melolonthini). Kogane, Tokyo, (18): 5-14.
- 岡島秀治・荒谷邦雄, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.
- 酒井 明, 2019. 沖の島の動物。酒井明話集, 29. URL http://www.city.sukumo.kochi.jp/fs/4/2/8/5/_/10_okinoshimano-dobutu.pdf (2019年10月1日アクセス)
- Smetana, A., 2016. Subfamily Cetoniinae. Pp. 367-412. In Löbl, I. & D. Löbl (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 3. xxviii + 983 pp. Brill, Leiden.
- 塚本圭一, 1987. 小島嶼産糞中について。放牧家畜などの糞処理昆虫の基礎研究 9. Lamellicornia, 3: 31-41.
- Wada, K., 2015. Systematic study of the genus *Parastasia* Westwood, 1842 (Coleoptera, Scarabaeidae). PhD thesis, Kyushu University Institutional Repository.

(2019年10月28日受領, 2020年1月15日受理)

例会開催中止のお知らせ

令和2年3月開催予定だった日本甲虫学会大阪例会, 名古屋例会, 東京例会の全3例会は, 新型コロナウイルスの感染拡大の恐れがあることから, 開催を中止いたしました。事後報告となりましたが, 予期できない事情によるものですので, ご理解のほどよろしくお願いたします。

(大阪例会・名古屋例会・東京例会運営幹事)

昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針 00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他, 採集, 製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社